

令和5年度第2回狭山市社会福祉審議会会議録

開催日時 令和5年10月6日(金)  
午後1時30分から午後2時46分まで  
開催場所 市役所 602・603会議室  
出席者 11名  
朝賀委員、井村委員、大野委員、小野委員、諏訪委員、中野委員、  
寶積委員、細井委員、堀委員、宮本委員、矢吹委員  
欠席者 高橋委員、中澤委員、成瀬委員、日比委員  
事務局 11名  
鷹野福祉部長、五十嵐健康推進部長、濱田福祉部次長(福祉政策課長兼  
務)、吉村健康推進部次長(介護保険課長兼務)、平野障がい者福祉課長、  
湯浅高齢者支援課長、小池健康づくり支援課長、木村保健指導担当課長、  
川島介護保険課介護事業担当主幹、阿部福祉政策課総務・政策担当主幹、  
小池福祉政策課総務・政策担当主査  
傍聴者 なし

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

報告事項

(1) 第6次障害者福祉プランについて(会議資料1)

障がい者福祉課長から説明

〈意見〉

委員 数日前に、さやま手をつなぐ親の会が毎年出している要望書に基づいて、福祉懇談会が行われた。生活の中で、親が高齢化する中で、グループホームの設置が待たないという声も挙がった。実際、市が設置するのではなく、市内の法人が設置するので、それについて今後の見通し等も質問に挙がったのだが、なかなか私達、親の思いと、実際に増設が進むというところは難しいところで、今、課長がおっしゃったようにしっかり予算を獲得していくというところが、今後大事になっていくと思うので、ぜひそこはお願いしたい。

審議、意見、調整事項

(1) 第9期狭山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について(会議資料2)

健康推進部次長(介護保険課長)から説明

〈質疑応答〉

委員 コロナ禍の影響が、確かに前はあったが、今、各所で、サロンが開かれ、そういう意味では高齢者の交流が増えてきた。

100歳体操もそうだが、今、うちの方では健康麻雀が5か所もあり、皆さん楽しみにしている。賭ける・賭けないではなく、頭を使うことが良いという感じで参加している方が多く、サロンの方も、人数が先週の月曜日だけで32名参加したりして、もう本当にどこのサロンでも増えてきている。そういった意味では、前のコロナ禍の影響として考えるのではなくて、また新たな計画として考えていただいた方が、よろしいのではないかと思う。

委員 当日配布の2-4からの資料だが、結構ボリュームがある内容で、これを当日に説明されてディスカッションというのは、なかなか難しいのではないかと思う。ですから、資料をもう少し前に配布し、審議する時間があつた方が良かったのではないかと思った。

このボリュームの中で、私が今日理解できた範囲内でちょっと気になったところなのだが、計画の基本的な方向性、高齢者福祉の将来像で、高齢者1人1人が住み慣れた地域で互いに繋がり、支え合い、いきいきと安心して生活ができるまちとある。とても良いと思うのだが、それを支える人たちがいる。

現実、やはりこういうコンセプトというのは、医師会の方でも載ってはいるのだが、医療従事者、介護福祉、ボランティアに関しても、無尽蔵にその人材がいるわけではないので、そこを何とかして確保するというプランがないと、やはりこういったことは具現化できていけないのではないかというふうに思う。

そういったものを提供する方たちの人材の確保ということに関して、何か少しでも描いている像みたいなのがあれば教えてほしい。

所管課長 委員がおっしゃるとおり、支える側の人材不足、そこが非常に今、厳しい状況にあり、サービスを提供する事業者の方からもなかなか人が集まらないというようなご意見・お声もいただいているところである。そこを、今後の9期でどのように仕立てていったらいいのか、市として取り組んでいったらいいのかというところは、すごく今、頭を悩ましているところであり、このような形で取り組んでいきたいというのが、今のところ、明確にお話できる状況には申し訳ないがないというようなところである。

委員 審議が進んでいく中で、提案があれば、私の方からもちょっと提案させていただくかもしれない。

もう一点、今お話しされた中で、eスポーツのお話をされていたが、医師会の見地ということだが、個人的にはこういう発想がなかった。ただ、その人の問題だとか、色々なことを考えていくと、こういう思考もありなのではないかというふうに思う。今、端的なところ、通所に行っても、デイケアに行っても、介護予防に行っても大体同じパターンのか

とが多い。そういった中で、こうやってeスポーツを入れていくというのは、賛成である。

会長 本当に狭山市に限らず、どこの市町村も人材不足の問題が大きな課題だと思うが、どうしようかという前に、なぜ人材不足なのかという分析もはっきり一方でしていただかないと、なかなか有効な施策というのは出てこないのかなと思う。今の高齢者の置かれている経済的な状況も含めて、色々あると思う。しっかりと、そこの辺りは、内部の中で検討いただければと思う。

委員 今、委員の方から言われた人材不足のこともそうだが、今までの求人活動の中で、市からもご協力いただいて、年に1回の合同説明会を開催していただいたかと思う。また、それ以外では埼玉県主催のもので、ハローワーク等の合同説明会が、県内各所で行われてはいるが、やはり年1回の取り組みの中での合同説明会に参加させていただいても、集客の部分でいうと、10名いくかいかないかぐらいしか集まってない状況で厳しい。

今後、新しい施設もできる中で、介護従事者を市内でもやはり100名単位で増やしていかないと厳しい現状は確かにあると思うので、その中の求人活動で、どうしても市としても予算を確保したりとか、人を出したりするのが難しいケースが出てくると思う。そういった中で、例えば我々の介護サービスの事業者協議会の中で、運営のご協力をさせていただいて、市としては、例えば協賛であったり、場所を提供していただくなど、そういった協力体制を持っての求人活動を行うというのも良いのではないかと思う。どうしても、市で人材を提供するのが難しいということであれば、こちらから人を出すように努力・声かけはさせていただくので、できれば事業者と市の合同という形での、狭山市内の福祉従事者を増やしていくという活動をできれば今後相談していただけるといいのかなとは思っている。

もう一つ、個人的な提案なので、現状もご確認いただきながらになり、お願い事になってしまうかもしれないが、できれば皆さんに狭山市の今の広報活動、狭山市のホームページ、SNSの方で、狭山市は旧Twitter・X、それとFacebookとLINEアカウントを頑張って作成していただいていると思うが、その情報を見させていただくと、観光情報とかは定期的にアップされているが、福祉関係の情報というのが非常に少ない。

実際、狭山市のホームページをこの後見ていただければと思うが、例えば健康福祉とか、子育てのところを1回クリックしていただくと、新着情報というのが、そもそも一番下である。どうしても、新着情報を見るにあたって、画面のスクロールが多かったり、クリック数が多いと、ホームページを担当していただいている方に聞けばわかると思うが、ホームページからの離脱率というのが上がってしまう。そうすると、知りたい情報が探せないからということで、皆さんホームページを見ないと思う。さらに厳しいことを言ってしまうと、その新着情報を見ても、今年度新着情報でアップされているのが

1 件である。そうすると、何が伝えたいのかという情報がまず拾えなくなってしまう。

他の市区町村の進捗情報を見ていただくと、過去の情報一覧というのもアップ、要は遡って見ることができるが、狭山市はそれがないので、見た限りだと、新着情報が、ほぼほぼないという状況になってしまう。できればそういったところの改善を、広報課にお願いをして、レイアウトを少し変えていただくとか、新着情報を各部署から定期的にアップしていただくとか、そういったことを少し取り組むだけでも、もしかしたらちょっと変わってくるかもしれない。

あとは、近隣の市区町村と比較させていただくと、インスタグラムがまだ始まっていない。これは職員さんに強要はできないとは思いますが、まず市の職員さんがそういったホームページとか旧 Twitter・X、インスタグラムとか Facebook を見ていただいて、いいねをしていただくだけでもだいぶ違うと思う。実際、そういうところを見させていただくと、いいねがほとんど 1 桁、良くて 2 桁である。市の職員さんに強要はできないが、見ていただいて少しでも職員さんからいいねとかそういう閲覧記録を増やしていただくという取り組みが増えていくと、もっと市民の方もそういったものが見えてくるようになるのかと、ちょっとした工夫で、費用をそんなにかけずに改善できる部分があるかなと、拝見して思ったことがある。8 期の進捗状況のところ、ホームページや広報誌への周知活動を行っていますと書いてあるが、現状だと、もうちょっと工夫すればもっと良くなると思うので、その辺りのところはちょっと検討していただきたいと思う。

会 長 今、広報の取り組みについて、委員から新しい斬新な提案があったが、どうか。健康推進部長何か意見はあるか。

所管部長 広報の関係については、ご指摘のとおり、今の市の予算の範囲内で行えるところについては、やはり見やすいであるとか、いろいろな方に見ていただけるレイアウトというところは広報部局との連携をとりながら、できるだけわかりやすく、皆さんに見ていただけるような内容にしていければなと思っている。参考にさせていただく。

副 会 長 例えば、資料 2-6 は、今後、議論するということだが、実際、今後どういうスケジュールで議論していくのかを教えてください。単純に言うと、資料が送られてきて、前半の部分は中身の説明がほとんどない。通常は、この辺の議論はもっと早くそれだけでやるとか、評価をどうするかだけであるとか、それがあって、骨子はこうだというふうに言われると、ストーリーがわかって意見も言えるが、これだと、意見も何も言えないというふうに率直に言えばなる。今後、実際本当に意見を求めて、やるのかということをお教えしていただけるか。その場合どうやるのか。

所管課長 今後のスケジュールについては、資料の 2-7 をご覧いただきたいが、今、

副会長がおっしゃられたように、資料だけが大量に届いて、中身について、もう少し深く説明させていただければよかったのだが、その点はお詫び申し上げます。

今後のスケジュールだが、本日10月の第2回で今回、骨子案を出させていただいた。この後、これまで2月に第3回の社会福祉審議会という予定が出ていたかと思うが、この計画策定委員会として、臨時で11月それから1月辺りで、臨時会というか高齢者計画の策定部会という形で、会議を開催させていただきたいというふうに考えている。

11月のときには、本日出させていただいた骨子案を踏まえて、計画の素案、ここまでを出させていただければということで事務作業を進めてまいりたいと考えている。また、12月にパブリックコメントを実施したいと考えており、そちらについてもご審議いただきたいと考えている。そして1月には改めて、臨時会ということで、パブリックコメントの結果報告と、相談ではなくて計画案という形で内容についてご審議いただきたいというふうに考えている。そして2月に、その計画案に対して、諮問させていただき、その後、答申という形で考えている。

ただ、これはあくまで予定というところで、国の動向も見極めると、場合によっては、その骨子や素案の内容についても変更が生じる恐れがあるので、現段階での予定ということでご承知いただければというふうに考えている。

副会長 基本指針の案が、もう骨子が出ているので、大きな法改正が予定されているわけではないし、これで進めていけばいいのかなというふうに思う。

私は、介護保険の計画の審議に、実質入るのが今回初めてで、前は地域福祉計画をやっていたので、それがどうされたか、あまりわかっていなかったが、他の自治体を見ていると、もう少し部会をきちんと設けて、それで地域包括の代表が入って、医師会の代表が入って、三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）の代表が入って、事業者の連絡会代表が入っているという、ちゃんとステークホルダーが何度か議論して作っている感じがするが、ここは審議会一発でやって、割と普段ステークホルダーだと言えないような方々が議論しているという面でちょっと大丈夫かなというのを率直に言って感じる。その辺り、今回はこうだとしても、今後は考える必要があるのではないかなというふうに改めて思ったということと、先ほどいろいろご意見も出ていて、やはり資料にもあったが、これからが本当の高齢化の本番で、後期高齢者が増えていく。それが、2035年から40年にかけて増えていくという話と、その後も減らないと、団塊のジュニアの世代が後期高齢者になるのは2055年から60年なので、そこまでこの状態が維持できるかというのは極めてなかなか難しいというか、真剣に考えないとまずいということなので、人材確保の問題をどうするのかと、その辺り事業者さんが今どういう状態にあって、どういう努力をされていて、その上で足りないものは何かというよう

なことをちゃんと聞き取った上で、市として何が応援できるのかということ  
を真面目に考えないと、本当にもつのかというのは、計画に書けば、もつな  
んてこともないと思うので、率直に言えば、人材は他の市町村と取り合いに  
なる。しかも、ここは東京がそばにあって、向こうの方が賃金高いので、相  
当、埼玉は真剣にやらないと厳しいなという感じがするので、その辺りは本  
当に、9期どうする、何期どうするという話ではなくて、率直に言えば2060  
年までどうするぐらい考え、まずは2040年までどうするというふうに考え  
ないと、なかなか厳しいかなというふうに思う。

だから、特養100床作るということだが、例えばそういうのも、在宅で最  
期まで暮らせるとやろうとすると、小規模多機能とか地域密着型を地域に配  
置していくとかということはどうするのかとか、何かその辺りのストーリー  
を持って、次回説明をいただければなというふうに、これは要望でもある。

会 長 狭山市の介護保険を思っ、いろいろ意見を言わせていただいている。本  
当に、今までのやり方を少し見返すとか、そういうこともやはりこれから必  
要な時代になっていくので、どうぞよろしくお願ひしたいと思う。

委 員 こういった取り組みのひとつで、もちろんeスポーツというのも、とても  
良いかなというふうに思うが、先ほど出た健康麻雀のように、地域で皆さん  
がいきいきと楽しく進められている活動を、まずもっと知っていただきたい  
というふうに思う。

私は、地域でノルディックウォーキングや、今日の資料でも配られていた  
カーレットをやっている。ここにいらっしゃる高齢者の方々は、とても楽し  
くいきいきと活動をなさっている。こういうところに、ご参加をたくさんい  
ただけるほど、やはり元気な高齢者の方が増えるかなというふうに思ってい  
る。これからの高齢者施策の課題の2つ目、高齢者自身が支えとなる仕組み  
作りにもあるように、やはり地域活動・ボランティア団体の活動支援を行っ  
ていくためには、地域で進められている活動を、まずはしっかりご覧になっ  
ていただきたいなというふうに、これは要望である。

会 長 今も、一部出ていたが、少し論点を絞って、内部で、どんな議論をする中  
で、こういう課題に向けてこういう方向性を出させましょうという、主要事  
業だけでも良いので、論点を絞って予め出していただくと、我々もちょっと  
考えようがあるので、その辺りも含めて、次の会議の準備をお願ひしたい。

4 その他

11月中旬予定の臨時会について案内をした。

5 閉 会

〈終了〉